OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	運用会議報告　大阪大学大型計算機センターニュース No.11
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1973, 11, p. 66-66
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65212
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

運用会議報告

第27回全国共同利用大型計算機センター運用会議議事要旨

日　時　　昭和48年6月29日（金）

場　所　　名古屋大学大型計算機センター

議　事

Ⅰ．報告事項

各センターの現況について報告があった。

Ⅱ．審議事項

1．利用負担金規程の一部改正について

京都大学の新システムによる演算料金の改訂及びＸＹプロッター出力料金の新設を骨子とする利用負担金規程の一部改正案が承認された。

2．センター連合の紀要（仮称）の刊行について

各センター研究開発部の研究成果等を発表する場として，センター連合で紀要（仮称）を刊行することについて審議し，特にその性格及び編集担当について種々意見の交換があったが，更に各センターの意向をまとめて，次回に引き続き検討することになった。

Ⅲ．承合事項

1．校費あるいは文部省科学研究費以外により負担金の支払われる課題申請について

この問題の具体例として各種の奨学寄附金による支払いに関して，各センターより実情と意見が述べられた。なお，この問題については，起り得る種々の場合を予想して統一見解を出すことは困難なので，各センターにおいて，共同利用の目的に照らしてケース・バイ・ケースで処理することを確認した。

2．昭和47年度実績及び昭和49年度概算要求の概況について

各センターより資料が提出された。

Ⅳ．その他

1）日本学術会議情報科学小委員会から，同会議第63回総会で採択された勧告「学術研究のための大型計算機設置に関する当面の措置について」及び同会議の学術情報体制に関する合同討論会について，資料により報告・説明があった。

2）計算機学術利用北海道地区協議会会長から，通信線を用いた計算機利用に関してその実現のための具体的体制について要望書が提出され，意見交換の結果，同会長と各センター長が相談することになった。

3）文部省科学研究費特定研究により「プログラム相談の機械化」を担当する研究会の現況について，報告があった。